

吉川活性化プロジェクト審議開始

2月14日、定住促進策検討が主テーマ

吉川まちづくり自治協議会は、地域がかかえる課題を踏まえ、これからの吉川地域のありようと今後の取り組みを考へることを目的に「活性化プロジェクト」を理事会の諮問会議として設置し検討を進めていくこととしました。



PJTに参加いただく(左から)市地域づくり推進課芥川さん、吉川工業団地総務会秋山さん、地域おこし協力隊山田さん

波光財産区議長、二宮まちづくり部会長、角谷事務局局長、平崎総務広報副部長が参加します。今後の展開にあたっては、関係者の方にも任意に参加をお願いすることと

冒頭、村会長からPJTのテーマとして、「小学校を残したい気持ちは、地域の特色ある学校づくりにあり、このためには、特色ある地域づくりをベースとした定住促進をどう進めるかにある。」

と述べ、5月に一定のとりまとめを行う日程で進めることを要請しました。

人口9500人
世帯数410
高齢化率40%

最初に、吉川地区の現状について検討しました。その中で、地域の人口は、九五〇人四一〇世帯、この5年間で人口は50人減、世帯数の増減なし。六五歳以上の方が占める高齢者の割合は40%となつていくこと。吉川地域および吉川工業団地の土地利用の規制内容等について出席者から説明を受け

て意見交換を行いました。PJTの次回テーマを、①よしかわビジョ

地域の福祉施策を話し合う いきがいの部会を開催



根来部会長を中心に、地域の高齢者施策の具現化について話し合う

吉川自治協いきがい部会を2月15日午後

3時から開催しました。会議には、史跡保存会、吉川まちづくり女性部、吉川長寿会、地域サロン、民生児童委員、公衆衛生推進協議会吉川地区推進委員、吉川げんき塾の各責任者と理事会担当者が参加しました。会議では、会長挨拶ののち事務局から、理事会での確認事項を

の検討②住宅地促進策の検討③移住促進策の検討とし、メンバーがそれぞれの立場

で情報等を集め持ち寄ることとしました。次回は3月14日に開催します。

周知し、意見交換を行いました。

その結果いきがい部会では、理事会確認事項を踏まえ、高齢者施策の具体化に取り組みこととしました。

防災機材の配備を進める

5月の総会で結成した吉川地区自主防災会は、今年度の事業計画としてきた非常時における資機材の配備保管を進めてきました。その結果、市から貸与を受ける機材の納入が2月22日終了しました。資機材は地域センター北東倉庫棟に保管します。

なお今年度の資機材配備は、市からの貸与分(60万円相当)、防災訓練等推進事業費(市交付金)自主防災会団体助成費(地元財源)で行うこととされています。



よしかわだより

平成31年3月1日(30-13)

発行者:吉川まちづくり自治協議会
☎082-429-1879(吉川地域センター内)
yoshikawajitikyo@outlook.jp

第2回粗大ごみ回収(持ち込み)を実施します。今回は、燃えるゴミ。3月24日午前中

平成30年度第2回粗大ごみ回収「燃えるごみ」は、3月24日午前8時～午前12時(半日)に行います。今回で今年度の回収は終了です。

※お願い:可燃物でかつ粗大ゴミが対象です。通常の燃えるゴミ回収日に出せるゴミは除きます。燃えるゴミでも金具類がついているものは取り外して、燃えるゴミだけ持ち込んで下さい。

燃えないゴミ・埋め立てゴミ・有害ゴミは出せません。ご協力をお願いします。

次年度は6月2日「燃えないゴミ」が第1回です。次年度の回収方法等は、直近でご案内します。

生活困りごとサポートの試行運用を開始 地域サポーターも募集

H28年から吉川げんき塾での話し合いを通じて具体化を模索してきた高齢者世帯が抱える日常生活での困りごとを、地域の住民がサポートする取り組みを4月から試行実施することとしました。

生活困りごとサポートは、高齢者世帯の住民からの要請に基づき、登録されたサポーターがお手伝いする取り組みです。

◎生活困りごとの対応種類

家電等取替え・修理、草刈、せん定、庭の手入れ、清掃、ゴミ出し、見守り声掛けとします。

今後の検討内容:

お出かけ(通院・買物)支援、食事等サービス

◎サポートは有料サービス

◎サポーター募集

住民の皆さんからサポーターを募集します。

◎サポート依頼、サポーター応募は

吉川まちづくり自治協議会事務局へ
(Tel429-1879:月～金午前中)



地域に暮らし続けるための活動を紹介

八本松地域ネットワーク協議会に参加

2月28日、市地域包括ケア推進課と市社会福祉協議会による「八本松地域関係者ネットワーク協議会」が午後2時から八本松地域センターで



会議は、生活支援コーディネーターの山崎さん(市社協)が進行役を担いました

開催されました。会議には、八本松地区住民自治協四地区・在宅医療推進医・民生児童委員代表・老人クラブ代表・警察署・消防署・八本松地域高齢者相談センター・市・社協21名が参加しました。この会議は、高齢者が地域で安心して在宅生活が継続できる地域づくりを目指し、生活支援コーディネーターをまとめ役に平成28年から開催されています。今回の会議は、健康寿命延伸の取組みとして

吉川げんき塾 31年度塾生を募集します

「自宅から一歩踏み出すには？」を話合うこととし、各自治協の活動状況を紹介しました。各地区とも、福祉関係講演会の開催、夏まつり文化祭、通いの場などのイベントを通して、高齢者に配慮した地域づくりが行われていることが紹介され、会議は2時間て終わりました

介護予防と認知症予防を目的とし、東広島市の推進施策の一つとして実施している「吉川げんき塾」。毎週木曜日の午前10時から90分間吉川地域センターで開催されています。男女のメンバー28人(平均参加数)が集い、健康寿命延伸に取り組んでいます。体操、脳トレ、歌声の会、調理実習と食事会、市

健康増進課・社協の指導、広島大学・広島国際大学・安田女子大学の出前講座、困りごと相談、体力測定・脳の健康テストなどが吉川げんき塾のメニューです。4月からの参加者を募集します。体験参加者も大歓迎です。一緒に楽しみましょう。吉川地域センターにご連絡ください。

地域活動

住民参加で、ポイ捨て空き缶・空瓶回収・周辺清掃に取組む



2月3日(日)、吉川地域では主

要な道路わきに捨てられた「空き缶・空瓶の回収作業」を実施しました。あわせて道路周辺に捨てられたごみの回収も行いました。

今回、空き缶23袋・空瓶8袋を収集しました。収集したごみは市が回収しました。今回で30年度作業全4回が終了しました。(次回は5月です)

ひとむすびマーケットに参加し、吉川紹介活動



「ひとむすびマーケット(地元大学生がプロジェクト)」が2月24日市役

所北隣の広場で開催されました。引き続き吉川自治協議会として参加し、ふれあいの里による野菜等の販売と吉川小学校保護者の協力を得て吉川小学校紹介を行いました。(今回、中川さん、船橋さん、元谷さん参加)なお、ひとむすびが組織化されて15日て3周年となりました

多目的広場

公園の里親会員を募集します!

吉川工業団地西隣の野球場を含む多目的広場の管理清掃を公園の里親「吉川環境美化グループ」で昨年10月から実施しています。グループは、地元ボランティアで構成されています。会員は現在8名です。公園の美化活動に興味をお持ちの方は、お気軽に参加下さい。申込は、自治協事務局に電話・メールをお願いします



自治協事務局に電話・メールをお願いします

吉川ふれあい会館

管理・利用申込み先を自治協事務局に変更

4月1日から、吉川ふれあい会館(西福寺駐車場となり)の管理は、吉川まちづくり自治協議会事務局(地域センター内)に変更します。これまで吉川長寿会で行っていましたが、利用申込の受付含めて変更となります。ご協力をお願いします

吉川まちづくり自治協議会…3月予定表

- 3/02: 農林業部会
 - 3/10: わが町No1.ふるさと夢トーク(市)
 - 3/10: お寺でマルシェin西福寺
 - 3/12: MMJ社増設工事住民説明会
 - 3/13: 土砂災害警戒区域等の指定説明会
 - 3/14: 第2回活性化PJT
 - 3/20: 福祉部会等代表者会議(市)
 - 3/22: 通いの場つながり交流会(市)
 - 3/24: 粗大ごみ回収(燃えるゴミ)
 - 3/24: ひとむすびマーケット
 - 3/30: 第8回理事会(拡大)
- ※(市): 市主催行事

吉川げんき塾: 3月スケジュール

- 毎週木曜日10時~11時30分 吉川地域センター
 - 3/07: 体操と脳トレ
 - 3/14: 体操と脳トレ
 - 3/21: お休み
 - 3/28: 体力測定&ファイブコグ
- 介護予防・認知症予防に取り組んでいます。どなたでもいつでも参加できます。

よしかわの1枚



30年度42回吉川げんき塾 歌声の会(2月14日)

ひがしひろしま市民活動情報サイトもご覧ください
<http://higashihiroshima.genki365.net/>